

# 「桐」がもたらす、やわらかい暮らし。



桐の床：うづくり／自然派塗料仕上げ

暮らしの中にやわらかな空間を実現します。



桐の腰壁



桐の床



桐の床の間



桐の建具

多彩な表情と色合いが自慢。



MWP-001-CODB MWP-006-COLB

広く用いられる「うづくり」。桐は冬目が割れるため優しい触感を実現します。オリジナルプレス型を用いた「麻」と「タなぎ」は、今までに無い個性的な表情。仕上げの塗装には環境にやさしい自然派塗料を用いています。

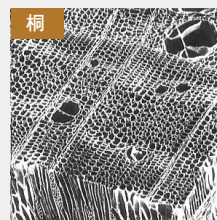
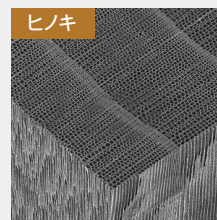
## 古くて新しい素材「桐」。

「桐」は古来日本でものを仕舞うときに、重用されていました。断熱・調湿効果をはじめ、軽くて燃えにくいなど、保存用器としても日常の中に息づいてきた「桐」。そんな「桐」も今の生活の中では段々見かけなくなってきました。MAM HOUSEでは、その「桐」に再度スポットライトをあて、「桐」の特性を存分に生かした製品を開発しています。

## 「桐」はなぜ優れた特長を持っているのか？

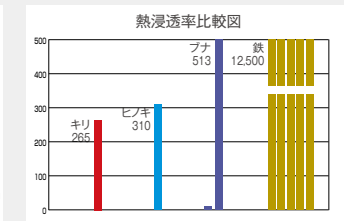
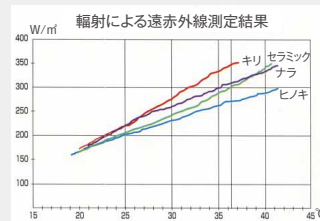
実は桐は、草の仲間。その組成の違いから、「木」と異なる性質を持っています。冬暖かく夏は涼やか、そんな魔法のような特性のわけは？

## 独立した空気層を持つ、熱を伝えにくい構造。



左のヒノキが、規則正しい組成なのに比べ、桐は要所要所に大きな空気を閉じ込める部屋を持ち、それが断熱効果を高める。当然重量も軽く、燃え難さに繋がる。

## データが証明する「桐」の高性能。



左図はそれぞれの素材に熱を加え、発生した遠赤外線放射量を測定したものの。桐が最も放射量が多いことがわかる。右図は各素材の熱の伝わりやすさを測定したもの。数値の大きい方が熱がよく伝わる(=熱が逃げる)。

## こんなにある、桐の優れた特性

- 暖かく、素足でも冷たくない
- 肌ざわりがよく、べつつかない
- 柔らかく、足腰・関節にやさしい
- コップを落としても割れにくい
- 断熱性能に優れる(省エネ)
- マイナスイオンを助長する
- 床暖房に使用できる
- 遠赤外線効果が高い
- 和室との相性が良い
- 湿度を吸収・放出する
- 軽くてやわらかい質感
- 燃えにくい
- 腐りにくい
- 水に強く、乾燥も早い
- 環境にやさしい

## MAM HOUSEの桐の特長

- 全て柾目無垢材を使用
- オリジナル自然派塗料 F☆☆☆☆を使用
- 塗装のメンテナンスが簡単

## 桐のために生まれた特許「美加工」

従来の桐床に用いられていた実(さね)の弱点を解消。割れにくく施工も容易な独自形状です。



販売代理店

株式会社 MAM HOUSE 事業部

20211015

本社工場 〒424-0057 静岡県静岡市清水区堀込345-2 TEL.054-348-1201(代) FAX.054-348-1214

東京支店 〒166-0002 東京都杉並区高円寺北2-2-1・5F TEL.03-5356-8866(代) FAX.03-5356-8883

大阪営業所 〒533-0014 大阪府大阪市東淀川区豊新3-9-2 TEL.06-6695-7555(代) FAX.06-6695-7556

ホームページ <http://www.resttime.co.jp>